



2020年3月19日

2020年3月期
卒業生・修了生・博士学位被授与者の皆さんへ
旅立ちを祝して

竹内 理

外国語学部長・外国語教育学研究科長

待ちにまった卒業式や修了式、博士の学位授与式。「この日が無くなるなんて、あり得ない」「なんてアンラッキー」「私って何か悪いことしたのかな」そのように皆さんはお考えかもしれません。本当にやり切れない思いが一杯でしょう。頭で分かっている、なかなか納得するには時間がかかるかもしれません。

しかし、これから皆さんが歩いていく人生は、だいたい、このような予想もしないことの連続なのです。山あり谷ありとありますが、山も谷も事前には見えません。人生は、暗闇の中で山あり谷ありの連続なのでしょう。そんな時に大切にしたいことがあります。それは、パニックに陥ったり、自暴自棄になったり、周りの人に当たり散らしたりしないということ。映画にもなりましたが、アポロ13号の月面着陸のミッションが予期せぬ問題で頓挫し、皆がパニックとなり、乗員の命が危機に瀕したとき、管制センターの責任者 Gene Kranz は次のように言ったそうです。

OK, now, let's everybody keep cool.

Let's solve the problem.

Let's not make it any worse.

どんな場合でも落ち着いて問題を解決し、これ以上状況を悪くしないように踏ん張ることの大切さを見事に表していると思います。お祝いの言葉としては冴えないものかもしれませんが、これからの人生で様々な苦境や閉塞感に出会った時に、ぜひ思い出していただければと思います。

ところで、人は腹が立つと、周りの人に結構あたるものです（皆さんは違うかもしれませんが）。そのような時は、

あのさ 自分の機嫌は自分で直すんだよ

という漫画家の瀧波ユカリさんの言葉はいかがでしょう。娘が、朝から不機嫌

にブスツとしています。そこで母である瀧波さんが、上の言葉を発するのです。母曰く、「誰か自分の機嫌を直して！」というような態度を取ることは、他の人を巻き込み、不機嫌の連鎖を作るのよ。自分で機嫌を直さないと。でもこのことに一生気づかない人もいます。お母さんも気づくまでに時間がかかった。死ぬまで気づかない人もいます。あなたは今気づいてよかったね。さあ、自分で自分の機嫌を立て直しな、と話しかけるのです。素晴らしいお母さんです（ちなみに瀧波さんは、無理して感情を押し殺す必要はなく、言いたいことは言えばよい、その上で機嫌を直すのだ、ともツイッター上で付け加えられています）。

では、どうやって自分の機嫌を立て直せば良いのでしょうか。様々な方法があるでしょうが、高杉晋作と野村望東尼は、「おもしろきこともなき世を（に）おもしろく、すみなす（し）ものは心なりけり」と合作で詠っています。心の持ちよう（視点の向け方）が、人生の節目に大きな力を発揮する。こんなことも、閉塞感に際して思い出せるよう、心のどこかに（隅でも結構）残しておいてください。

さて、私は過去の卒業式や修了式で、巣立っていく皆さんに、次の言葉を決まってお紹介してきました。今回も同じです。

靡 罔
侍 談
己 彼
長 短

（もうだんひたん）彼の短を談ずるなかれ
（びじこちょう）己の長（まさ）るところを侍（たの）むことなかれ

中国南朝時代に世に出された『千字文』という書道のお手本が載せられている文書の中に、見ることができる文章です（ちなみに『千字文』は、千字すべてが異なる字で、一文字も重複していないことでも有名です。無限性を感じますね）。

ここに述べられていることは、なかなか実現できません。なにしろ「他者の短所や問題点をあげつらわず、自分の長所や能力の自慢もしない」という意味ですから。このような事が出来れば、You shall be a miracle. のようになるでしょう。出来ないことを目標にしてみても、と思われるかもしれませんが、私はそうは思わないのです。それを目標にすることだけでも、十分に行動が変わってきます。騙されたと思って、一度、この目標を掲げてみてはどうでしょうか。自分の行動

は、多くの場合、コントロール出来るのですから。

皆さんは学部や大学院で、多くの事を学んできたと思います。その中で、知識よりも技能よりも人脈よりも、どれよりも大切なものは何だと思われるでしょうか。私は、物の見方や考え方の幅を広げ、その結果として柔軟性を身につけたことだと考えています。どのような場合でも、この見方・考え方の幅と柔軟性は皆さんの力となり、道具（武器かもしれません）となり、山あり谷ありのこれからの人生を切り拓いていく手助けをしてくれるでしょう。そしてこの道具を駆使して、人生をコントロールして行って下さい。どのような困難にぶちあたっても、冷静に、状況を悪くせず、機嫌を直し、心（視点）の持ちようを変えて、他者には寛容に接し、調子にのらず、目の前の問題解決に全力であたる。そんな皆さんに、これからも成長して行って下さることを、心より祈っています（そして、ふと疲れた時には、いつでも母校のキャンパスを訪れて下さい）。

空と人生の一番の違いはなんだか知っているか
空は誰のものでもない。人生は自分のもんだ
人生はコントロールがきく —— デニール・ヤング（宇宙兄弟より）

あと1つ強調しておきたいことがあります。それは、当たり前ですが、式典がなくなっても、皆さんのご卒業・ご修了・学位取得が努力の結晶であり、そして素晴らしいものであることには、まったく変わりがないということです。だからこそ教職員一同を代表して、最後に大声で皆さんに伝えたいと思います。

おめでとう！そして、新たな門出に God Speed!

ご家族・関係者の皆様へ

ご家族・関係者の皆様、ご卒業、ご修了、学位取得、おめでとうございます。残念ながら式典が中止となり、直接お伝えできませんでしたが、本学部・研究科における教育にお示しいただきました、これまでのご厚情、ご協力、ご理解に衷心より感謝申し上げます。ありがとうございました。引き続き「我が子*の母校は我が母校」の精神で、本学部・研究科へのご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます

*多様な可能性を総称で表現しています。